

日本青年団 新聞

5

2014年
第99巻 第5号

月1日発行

編集・発行 日本青年団協議会

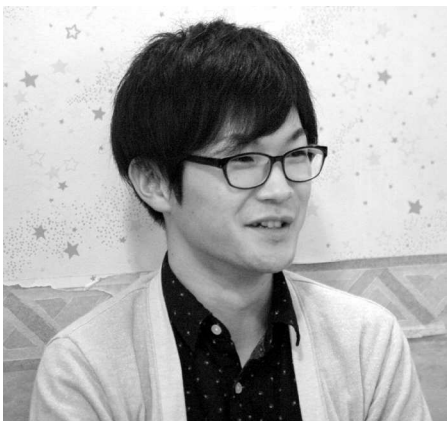
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号

日本青年館内 TEL03-3475-2490

大正5年2月10日第三種郵便物認可(毎月1回1日)

振替口座 00140-6-37229

年間2,200円 1部200円(送料・消費税込)



時には真剣に、時には冗談も交えながら、犬川地区青年団の語り合いは尽きることがなかった

CONTENTS

ACTION

- ◆地域活動 全国に認められる (岩手県) 3ページ
 - ◆2年ぶりに復活した青年大会 (東京都)
 - ◆笑顔の花咲く花祭り (福井県)
 - ◆初めてのオタリンピック (長野県)
 - ◆30年以上続く演劇大会 (和歌山県) 4ページ
 - ◆1,000人集い大盛況 (香川県)
 - ◆贈られたのは青年の居場所 (沖縄県)
- ◎連載企画 社会のおべんきょ!

INFORMATION

OPINION 『より良い労働環境のために』 5ページ

FOCUS

こんなにも身近!? 日本国憲法 6~7ページ

BREAK TIME

- ◎連載企画 キラ☆キラ人が集まる青年団 8ページ
- ◎クロスワード ほか

今月のCOVER STORY

ーワタシが町に残る理由ー

おきたま かわしまち
山形県東置賜郡川西町は、東京から新幹線で2時間程度、県南部の米沢盆地の中心に位置する、人口17,000人余りの町だ。町の大半を山林が占め農地が30%、その約92%が水田として耕作され、町内には県随一の水田地帯が辺り一面にひろがる。その農村の中に、たった一つ残っている青年団がある。それが犬川地区青年団だ。

彼ら・彼女らは日頃からの住民とのふれあいを通じてあることと向き合うようになった。それは「過疎化」だ。町に残る自分たちに何ができるのか考えようと、団員に呼びかけ「犬川地区青年団の考える過疎問題について」と題した座談会を開いた。

☞ 詳細は2ページ